



平成 28 年 1 月 8 日

各 位

上場会社名 日本コークス工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 西尾 仁見
 (コード番号 3315)
 問合せ先責任者 人事・総務部長 山下 伸一
 (TEL 03-5560-1311)

平成 28 年 3 月期業績予想の修正、 北九州事業所(コークス工場)における設備事故の影響ならびに今後の見通し、 および平成 28 年 3 月期配当予想の修正に関するお知らせ

当社北九州事業所(コークス工場)における設備事故の影響および最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 10 月 9 日に公表した平成 28 年 3 月期通期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の業績予想の修正、平成 27 年 11 月 27 日に発生した設備事故の影響ならびに今後の見通し、および平成 27 年 5 月 15 日に公表した平成 28 年 3 月期配当予想の修正を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1)平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	98,000	3,800	2,700	1,500	4.97
今回修正予想(B)	95,000	2,900	1,600	△300	△0.99
増減額(B-A)	△3,000	△900	△1,100	△1,800	
増減率(%)	△3.1	△23.7	△40.7	—	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	101,797	6,639	6,162	2,489	8.25

(2)平成 28 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	86,000	3,300	2,400	1,700	5.63
今回修正予想(B)	83,000	2,400	1,400	△200	△0.66
増減額(B-A)	△3,000	△900	△1,000	△1,900	
増減率(%)	△3.5	△27.3	△41.7	—	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	90,746	6,242	5,850	2,994	9.93

(3)修正の理由

平成 28 年 3 月期の通期業績予想に関しましては、平成 27 年 11 月 27 日に発生した当社北九州事業所(コークス工場)の設備事故の影響ならびに当社の主要事業であるコークス事業における原料炭価格下落に伴う割高在庫影響、また、化工機事業の固定資産減損見込みなどを受け、売上高および各利益ともに従来予想を下回る見込みであります。

このような状況から、通期の業績予想を修正いたします。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 北九州事業所(コークス工場)における設備事故に係る業績への影響額の見通し

(1) 事故の概要

平成 27 年 11 月 27 日に強風により待機中であった石炭揚陸用のアンローダー 2 基が逸走する設備事故が発生しました。人的被害はありませんでしたが、5 号アンローダーが海中に転落し全損、6 号アンローダーが脱線、走行装置等が一部損傷いたしました。

損傷したアンローダーは未だ稼働しておりませんが、コークスの生産についてはガット船(クレーン付きの船舶)の使用等により必要な原料炭の手当ては行っており、設備事故前と変わらぬ操業を継続しております。

(2) 今後の見通し

損傷した 6 号アンローダーの復旧につきましては、既に復旧工事に着手しており、平成 28 年 2 月末を目途に稼働再開の見込みです。

なお、全損しました 5 号アンローダーにつきましては、撤去後、新規購入を予定しており、納期等につきましてはメーカーと調整中です。

(3) 業績に与える影響額の見通し

現時点において、5 号アンローダーの除却損および撤去費用、損傷した 6 号アンローダーの復旧等の費用、原料炭等の代替輸送等に係る費用、ならびに損害保険による補償額等について一定の前提を置いて算出した影響額は以下のとおりです。

(平成 28 年 3 月期通期連結業績への影響額の見通し)

	金額(億円)	備 考
営業利益	△ 0	燃料販売事業における取扱数量の減少
特別損益	△ 5	除却損、撤去および復旧等に係る費用、事故に起因するコークス原料用石炭等の代替輸送費用ならびに保険収入等
合計	△ 5	

なお、影響額の見通しは、本資料発表日において入手可能な情報および将来の不確実な要因等に一定の前提を置いて見積もっているため、今後変動する可能性があります。

3. 配当予想の修正について

(1) 平成 28 年 3 月期配当予想の修正

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	3.00	3.00
今回修正予想	—	—	—	未定	未定
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成 27 年 3 月期)	—	0.00	—	3.00	3.00

(2) 修正の理由

平成 28 年 3 月期の 1 株当たり配当予想につきましては、当期業績予想の悪化を勘案し、現時点では未定といたします。

なお、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

以上